

2014 年度第 12 回執行理事会議事録

期 日：2015 年 5 月 23 日（土） 10:00～10:35

場 所：北とぴあ第一研修室(7 階)

出席者：井龍会長 渡部副会長 山本副会長 齋藤常務理事 海野 緒方 杉田 竹内 廣木
星 保柳 中澤 松田 山路

(事務局) 橋辺

欠席者(委任状提出あり)：ウォリス 坂口 平田

*定足数(12、委任状含む)に対し、出席者 16 名、委任状 2 名、合計 16 名の出席。

*前回議事録の承認

I 審議事項

1. 結晶学会が Orthorhombic の訳語について、「斜方晶系」の名称を「直方晶系(斜方晶系)」に改めるとの件の対応(井龍)
鉱物学会と歩調を合わせて、齋藤常務と中澤理事を中心に今後の対応を検討する。
2. 台湾地質学会との学术交流協定締結に伴い、長野大会への会長招待および協定書交換のセレモニーについて(保柳)
長野大会で交流協定を締結できるように準備を進める。
3. 総会議事運営について
議場からの推薦がない場合には、総会議長を稲場士誌典会員、副議長を重松紀生会員に依頼することを予定。
4. その他

II 報告事項

1. 全体的報告

- 1) 地球惑星連合総会および学協会長会議(5/27)に会長が出席。
- 2) ネパールの地震について、連合からの提案と質問があった。そのうち、地震学会と環境災害対応委員会の共催により、今回の大会で緊急セッションを設けることに賛成し、共催を承諾した。また、同セッションにポスター発表を出すことについては酒井治孝会員に打診し、了解を得た。
- 3) 国際地学オリンピック三重大会の募金活動に協力要請があり、学会としての添え状を提供した。
- 4) 名古屋大学の年代測定総合研究センター(榎並正樹センター長)より、名古屋大学宇宙地球環境研究所(仮称)が文部科学省の共同利用・研究拠点認定に応募するにあたり、学会からのサポートレターの要請があり、これに応えサポートレターを出した。
- 5) 琉球大学熱帯生物圏研究センターより、共同利用・研究拠点期末評価の依頼が会長あてにあり、会長がアンケートに答えた。

2. 運営財政部会：総務委員会 (緒方)

・決算案・予算案の詳細決定。

<共催・後援依頼、他団体の募集等>

- ・三浦半島活断層調査会より、城ヶ島観察会（5/23）の後援依頼があり。例年どおり承諾した。
→HP。geo-flashに掲載
- ・四国支部より、地質の日-岩石・鉱物鑑定会（5/10）の後援依頼を承諾した。→HP。geo-flash
に掲載
- ・「国際シンポジウム 沈み込み帯堆積盆地のリソスフェア・ダイナミクス（10/5-7）」の後援
依頼が同組織委員会（委員長 佐藤比呂志）よりあり、承諾した。→HP。geo-flashに掲載
- ・国際化石藻類学会より、第11回国際化石藻類シンポジウム（9/14-19）の後援依頼があり、
承諾した。→HP。geo-flashに掲載
- ・群馬県自然史博物館より第49回企画展「恐竜時代の海の支配者」の後援依頼があり、承諾
した。→HP。geo-flashに掲載
- ・日本科学技術振興財団より「青少年のための科学の祭典2015」（6/13-2017/03/31、全国81
会場）の後援依頼があり、承諾した。→HP。geo-flashに掲載
- ・ゼオライト学会より、「第31回ゼオライト研究発表会」（11/26-27）の協賛依頼があり、承
諾した。→HP。geo-flashに掲載
- ・日本粘土学会より、「第549回粘土化学討論会」（9/2-5）の共催依頼があり、承諾した。→
HP。geo-flashに掲載
- ・日本原子力学会より、「原子力シンポジウム2015」（7/16）の共催依頼があり、これまで通り
承諾した。委員要請もあり緒方理事が委員となることを了解した。→HP。geo-flashに掲載
- ・住友財団より、2015年度研究助成公募（基礎科学研究助成、環境研究助成、助成期間
2015/11-2016/10）があり（6/16〆切）、News誌、geo-flashに掲載

<その他>

- ・資源素材学会より会長交代の挨拶状、新会長前田正史氏（東大生産研）。

<会員>

1) 今月の入会者（16名）

正会員（4名）：宇佐美 徹、石橋 隆、西原康人、猪瀬弘瑛

正(院割)会員（7名）：増本広和、飛田知世、梅澤優美、石毛康介、池谷昌美、橋本朋子、
坪川祐美子

正(学部割)会員（1名）：富永紘平

2) 今月の退会者（正会員3名）

森田清彦、卯田 強、松田周太

3) 今月の逝去者（3名）

名誉会員（1名）：靱倉克幹（5/15）

正会員（2名）：土 隆一（4/2）、真鍋健一（4/19）

4) 2015年4月末日会員数

賛助：28、名誉：61、正会員：3663（正会員：3561、院割会員：99、学部割会員：3）

合計 3752（昨年比 -70）

<会計>

- ・青野監事・山本監事による会計監査が5/13日におこなわれ、帳票類についての確認、2014
年度財務諸表が承認された。

3. 広報部会：広報委員会（坂口・松田）

- ・文科省より、平成 28 年の科学技術週間に向けて、一家に 1 枚のポスター募集案内があった。
締め切り 6/22。
- ・広報委員会の強化再編について
委員長 坂口有人：ジオルジュ担当（広報担当理事）
委員 松田達生：geo-flash、HP 担当（広報担当理事）
小宮 剛：ニュース誌編集委員長担当
山口飛鳥：質問コーナー担当
北村有迅・内尾優子・新正裕尚・梅津慶太・
部会選出委員：鶴澤由香（岩石部会）・新井和乃（現行過程）・及川照樹（火山部会）
橋本善孝（構造地質部）・久光敏夫（海洋地質部会）

4. 学術研究部会（ウォリス・竹内・中澤）

（1）行事委員会（竹内）

巡検は例年通り関連学協会との共催にする。

（2）国際交流委員会（ウォリス）

- ・保柳理事が台湾地質学会 Teng 会長との面談で得た情報

台湾地質学会との学術交流協定については同学会の理事会の承認が得られた。6 月の後半に役員が新体制になるので、協定書の締結および長野大会への招待は新会長ということで検討。

（3）JIS、標準担当（中澤）

5. 編集出版部会（山路・海野・保柳）

（1）地質学雑誌編集委員会（山路）

1. 編集状況報告（5 月 10 日現在）

- ・2015 年投稿論文 総数 25 編 [総説 1（和文 1）・論説 11（和文 10、英文 1）・報告 4（和文 2、英文 2）・ノート 1（和文 1）・口絵 1（和文 1）・巡検案内 7]（昨年比-14）

査読中：24

受理済み：1（巡検案内）

- ・121 巻 5 月号：通常号（報告 2、口絵 1：約 13 頁）5/22 校了、6/1 発送予定
- ・長野大会巡検案内書：全 8 コース中全コース投稿完了。4 コース受理済み。

（2）アイランドアーク編集委員会（海野）

1. 編集状況

Vol. 24 Issue2（2015 年 6 月）：Island Award、一般原稿 8 編、Rehman 特集 1 編、Carbonate 特集 1 編を掲載予定

2. オンライン投稿の状況

過去半年（2014. 11. 20～2015. 5. 20）の投稿数 60 件。うち新規投稿 49 件。

（特集号の原稿投稿により、新規投稿数が増加）

3. 特集号

1) Oceanic and continental orogens in Asia（Rehman 特集）：全 9 編のうち 6 編受理（Vol. 23-4 に 5 編掲載済み、24-2 に 1 編掲載予定）。残りは掲載時に WEB 上で Virtual Issue として取りまとめ予定。

2) Carbonate sedimentation in Pacific coral reefs：全 6 編のうち Vol. 24-1 ～ 5 編掲

載済。24-2 へ 1 編掲載予定。計 6 編を WEB 上で Virtual Issue として取りまとめる。

上記のほか、3 つの特集号が投稿・査読中。

4. ダウンロード賞

本年最多ダウンロード賞を以下の通り決定した。

Shinji Yamamoto et al、2013、Title: Recycled crustal zircons from podiform chromitites in the Luobusa ophiolite, southern Tibet。Island Arc、Vol. 22 Issue 1、89-103。

集計対象期間：2014 年 1～12 月、

対象：2009 年から 2013 年 (Volume 18 から Volume 22) 出版の論文

(3) 企画出版委員会 (保柳)

・大島三原山の (リーフレット) の出版企画について検討し、読者の対象、販売の見通しなどについて提案者に確認のうえ、出版を承諾することとした。

・リーフレット企画出版委員会の再構成について

6. 社会貢献部会 (平田・杉田・廣木)

1) 街中ジオ散歩を 5/10 に実施 参加者 28 名、事故なく終了。

2) 地質調査研修 6 名の参加を得て、5/18-5/22 に実施。講師より事故なく終了の報告あり。

7. ジオパーク支援委員会 (平田)

1) 2015 年地震火山子どもサマースクール (南アルプスジオパーク)

8 月 8 日～9 日開催に向けて、現地実行委員会で準備中

2) 2016 年地震火山子どもサマースクールの会場

南紀熊野ジオパーク推進協議会 (和歌山県串本町) に決定 (3 月 13 日付)

8. 地学オリンピック支援委員会 (平田)

1) 支援委員会からの報告事項

・4 月に第 7 回日本地学オリンピック予選の試験問題を検討し、評価・要望書を地学オリンピック日本委員会に提出。

2) 地学オリンピックの最近の動向

・5 月末に 1 回目の第 9 回ブラジル大会の日本代表合宿研修を秩父にて実施予定。

・5 月末までに集まった第 10 回日本大会開催への協賛金 (寄付金) と同額の支援を国に申請予定。

9. 地質技術者教育委員会 (山本)

・JABEE の総会 (5/26) に山本が出席予定

10. 中期ビジョン委員会 (坂口)

・審議報告、理事会への提案

2015年6月6日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長 (代表理事) 井龍康文
署名人 執行理事 齋藤 眞